



1カ月の納期を2週間に短縮 上質なパターンオーダーシャツを より早く、より多くのお客様に

(写真左) Online Store and Made to Measure Coordinator
上島 洋代 氏

(写真右) Made to Measure Coordinator 海外サイト副責任者
日坂 幸太郎 氏

事例のポイント

- 納期を従来の2分の1に短縮。売り上げは約2倍に
- 本社・協力工場・店舗、関わる人すべての「時短」を実現
- 海外での事業展開にも大きく貢献

Maker's | 鎌倉 | Shirt | 倉

株式会社サダ・マーチャンダイジング
リプレゼンタティブ
〒150-0012
東京都渋谷区広尾5-1-25
広尾ヴィラージュ3階

事業内容

鎌倉シャツのオンラインショップの運営、
マーケティング、出店戦略、商品開発。

<直営店>神奈川県：6店舗、東京都：12
店舗、愛知県：1店舗、大阪府：3店舗、
福岡県2店舗、ニューヨーク
<FC店>山形県、愛知県、広島県

鎌倉発祥の「鎌倉シャツ」。メーカーズシャツ鎌倉株式会社では「上質なシャツを手頃な価格で提供する」をポリシーに、25年間にわたりこの鎌倉シャツを作り続けている。サダ・マーチャンダイジングリプレゼンタティブ（以降、略称SMR）は、このメーカーズシャツ鎌倉のマーケティング、出店戦略、商品開発を一手に担う企業である。早期からSPA*モデルを取り入れ、またデジタルトランスフォーメーションの取り組みにも積極的であり、アパレル業界の中では先進的企業と言える。

「世界で活躍するビジネスパーソンを応援する」という企業理念のもと、上質なシャツを提供し続けるSMRが現在注力しているサービスが、「Made to Measure」と呼ばれるパターンオーダーシャツである。お客様ごとに適したフィット感を実現するために、限りなくフルオーダーに近い、様々な箇所の部分補正が可能で、300種以上の生地から選ぶことができる。

導入前の課題

オーダーシートをFAXで送り、さらに郵送するという二度手間

現在では、世界中から毎日オーダーが入るようになり、ビジネスとしての手ごたえを感じているが、「ここまでたどり着くには、いくつかの課題がありました」と語るのはSMRのオンラインショップとパターンオーダーシャツを担当する上島氏だ。

以前は、パターンオーダーシャツの納期は1カ月、とお客様にご案内していたそう。上質なオーダーシャツを少しでも早くお客様のもとへ届けるため、受注から生産、出荷に至るまでの工程を見直し、徹底的に効率化した。

店舗で注文を受ける際にオーダーシートに記入し、それをSMRから縫製工場にFAXで送信。さらに、FAXだと細かい数字などが判読できないこともあり、オーダーシートを追って郵送していた。縫製工場では、受け取ったオーダーシートを見ながら、パターンシステムに入力するため、誤入力による生産ミスも発生していた。「お客様の元にシャツが届いてから、初めて間違いに気づくということもありました」（上島氏）。

選定のポイント

工場との情報連携に必要なのは“扱いやすさ”

サービスが好評を得て、需要が増えつつあるなか、より多くのお客様に少しでも早くシャツを提供することを目指すSMRは、パターンオーダーシャツ生産における情報連携の改善を検討し始めた。工場とのやりとりにおいては、PC操作に慣れていないスタッフに配慮し、使い勝手の良いサービスを探していたところ、Fleekdriveを知ることになる。「ユーザーインターフェースやファイルをアップロードする時の操作感など、Fleekdriveの扱いやすさは決め手のひとつとなりました」（上島氏）。導入時には工場に向かいレクチャーを行ったが、使い方を理解してもらうまでには時間がかからなかったという。

*SPA (specialty store retailer of private label apparel)

生産機能をもったアパレル専門店であり、商品の企画から製造、物流、プロモーション、販売までを一貫して行う小売業態。



TexTeq広尾店

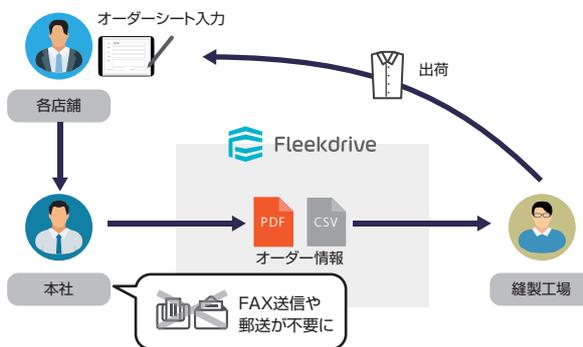


導入の効果

1カ月だった納期が2週間に、売上げは約2倍に！

Fleekdrive導入を含めた改善の結果、仕組みは大きく変わった。今では毎朝、店舗から送られてきた前日のオーダーシートをまとめてPDFにして、Fleekdriveにアップするだけ。縫製工場ではそれをダウンロードして、必要な情報をCADに読み込むだけで縫製にかかる。ミスもなくなり、1カ月だった納期が2週間で商品がお客さまのもとに届けられるようになった。この納期の短縮は、大きなセールスポイントとなった。縫製工場の生産能力があがってきたこともあいまって、オーダーシャツの売上げは以前に比べ、約2倍になった。さらに、オーダーシートにかかっていたFAX通信費や郵送費などのコスト削減を実感することができた。

● オーダーシートの情報をFleekdriveで管理

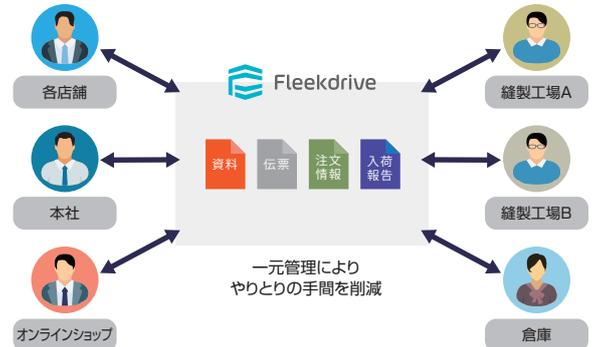


社内業務の時短にも貢献

Fleekdriveの活用は、オーダーシートの受け渡しのみにとどまらない。本社内での情報共有をはじめ、各店舗への資料配布にもFleekdriveを利用している。また、縫製工場では工場間での情報共有、本社や店舗との入荷報告書、伝票のやりとりに、さらにはオンラインショップでの倉庫とのやりとりなど、Fleekdriveの利用範囲は多岐にわたる。

これらのやりとりにおいても、以前まではFAXやメール、他システムなどが混在し、手間が生じていたが、Fleekdriveにより本社はもちろん、店舗、縫製工場の勤務時間の短縮に貢献する結果となった。

● Fleekdriveの活用により勤務時間の短縮に貢献



今後の展望

市場規模が桁違いの海外戦略でこそ、Fleekdriveが生きる

2012年10月にオープンしたニューヨーク店は、実はこのパターンオーダーシャツの受注が最も多い店舗である。「ニューヨークだけで毎月約150件の受注があります。富裕層の方は、1回の注文が1週間分だとか1ダースだとか、桁が違いますね」とSMR海外サイト副責任者の日坂氏は語る。2018年には現地に倉庫を新設し、提供スピードをさらに早めることができたという。これだけのオーダーのやりとりをFleekdriveで効率化できたコスト効果は大き

い。またSMRでは、中国において先行しているオンライン販売に続き、上海をはじめとする店舗展開も検討している。

Fleekdriveは、郵送やFAXなどのアナログツールに頼ることなく、情報を瞬時に、かつ同時に、国境を越えて共有できるサービスである。これからのSMRの海外戦略に欠かせないものとなるだろう。

お問い合わせ／資料請求 (受付時間／平日10:00~18:00)

03-6722-5015

Fleekdrive

検索

www.fleekdrive.com